

おどろきと感謝

はじめに

私がOB会設立のお手伝いをして、そのまま10年間も役員をさせていただきました。その間、皆さんのお役に立つことはあまりできませんでした。改めて、お詫びします。役員を退任して、早くも10年になろうとしています。

このOB会の運営は大変難しいものですが、これはOB・OGの皆さんのご理解がなければなかなかうまく運営ができません。放研のOB会は最初からあったものではなく、50周年記念式典がきっかけでできました。したがって、「何をいまさら・・・」と思っている方も多くいると思います。

「OB会で何ができるのか?」「今更、OB会に登録しても何もメリットはない」というご意見も多々あると思います。しかし、私は少し違った角度で見えています。それはまた、別の機会にお話しできたらと思います。

最初のOB会役員の間で、いろいろと議論した内容の一つに「今やOB会といっても、HPを作らないことはないだろう」という意見が役員全員から出されました。しかし、HPを出す以上、「定期的に更新されなければ意味がなくなってしまう」などのご意見もありました。さまざまご意見交換の末、最初のHP作りを私が担当することになりました。HPは何といてもトップページがものをいいます。何種類か自分で案を作りましたが、なかなかうまくいきません。たまたま私の所属するNPOの仲間の一人にHP作成を専門としている方がいて、個人的に状況を話して、超格安で現在のトップページを作ってもらいました。正直、私の考えていたものは比較にならないと実感しました。また、その時は今後誰でも運営しやすいように「ホームページビルダー」で編集などを行うことを前提として考えました。その理由は、当時は学校などでは比較的良好に利用していた関係もあり、学生でも扱えることもあり身近なものであったと思っています。

OB会設立から間もなく20年になろうとしています。そろそろ、HPリニューアルを考えてもいい時期ではないでしょうか?どなたか、ぜひチャレンジしていただけたらと思っています。さしずめ、今は「Word Press」でしょうか?



先日私も仲間と「Word Press」の勉強会をしました。(現在も勉強中)「Word Press」は誰でも編集できると言いながら、初めての方やHPなどに経験のない方には少しハードルが高いかな?と感じています。皆さんも一度勉強会などをやってみるのもいいと思います。(すみません。余分なことを言いました。)

現在のさくらインターネットで「Word Press」を使うには現在の契約よりも一つ上の契約にする必要がありますが・・・

1. 突然の連絡 (驚き)

上記の経緯を踏まえてHPの内容を具体的に検討してきました。この検討の結果はトップページの左に置いた項目を見て下さい。この項目は実際の運営に沿って当初より項目はかなり多くなっています。

さて、その次は内容です。役員の間では「テーマなどは決めずに、会員に自由に書いてもらう。何かに絞れば皆さんが書きにくい」ということもあり、テーマや内容は「投稿者に任せる」という姿勢を取りました。しかし、OB会のHPは特に著作権については守るようにしたいと考えました。これはOBだけでなく学生諸君にとっても非常に重要なことです。この検討を「Essay」として項目にあげました。

すでにお読みになった方も多いたと思いますが、初代会長故木村正義氏が積極的に執筆くださいました。流石に木村氏の文章のすばらしさにちょっと引いてしまいました。

私も何か投稿すべきかと思いましたが、木村さんのような文章は書けません。これまでの習慣で、レポートや発表要綱的なものは書いていましたが、なかなか皆さんに読んでもらうものは…「ふと！」思ったものは、私のクラブ時代から学校に残った経緯やアイドルホールを中心としたものなら何とか皆さんにお伝えできるのではないかと思いました。

丁度、OB 会がスタートした折はインターネット、セキュリティなど PC を取り巻く状況とわれわれの年代の理解度との差が大きい状況でしたので、2008年に私が「朝日新聞」から3回シリーズで頼まれた「安心ネット術」(全国版)の原稿を基に記述しました。それが Essay に投稿した「ネットの普及と安全性」になります。これをきっかけに、「放研時代」をはじめさまざまなことをランダムにメモをしながら構成を考えました。また、若い世代の後輩諸氏の中には、いろいろと疑問を持っている方も多く、そんな話を聞きながら、書く内容を考えていました。

一つには私たちの時代は湘南校舎では2号館が中心で学校のさまざまな行事はすべて2号館で行いました。各種講演や新入生歓迎会などはすべて2号館で行いました。その企画進行はすべて放研に任せられたわけで、進行・照明・演出・アナウンス・技術すべてのことが勉強になりました。その経験は皆、社会に出て大いに役に立ったと思っています。(ここで、舞台進行に興味を持ったメンバーが後に「ミュージプロ」を立ち上げました。今は新組織になったと聞いています。)このことを書こうか…？

あるいは2号館でロイヤルシェクスピア劇団の公演について書こうか？(しかし、題材が乏しい…)印象にあるのは、ロイヤルシェクスピア劇団がリハーサルの時に、学校側がマイクをどうしたらいいか？(どのように設置したらいいか？の意)と何うと、「何もいない」とのことでした。リハーサルが始まるとすぐに無用のものだとわかりました。全出演者が、何の躊躇もなく素晴らしい肉声が館内全体に響き渡り、ただ啞然としたことを思い出しました。「やっぱり本物は違う！」等々、悩んだ末にやはり私にとって思い出深いアイドルホールが一番書きやすいとの結論に達しました。

昔(皆さんの知っている技術課)、研究室でみんなでレポートを読みあいながら勉強したことを思い出し、Essayを書くことにしました。「アイドルホール(Eidophor)って何？」です)

当時、私たちの部屋は2号館の南門側の控室の2・3階にありました。狭く、暑い冷房のない部屋で、皆でレポートを読みあったり、それぞれが1頁ずつ交代で訳したりして専門用語の英語に振り回されて悪戦苦闘した日を思い、部屋があまり暑くなると、調整室にわざと用事を作って涼みに行ったりしていたことを思い出しながら…(調整室はアイドルホールのため空調がありました)そう当時、空調は機械のために入れていました。(笑)

私がある頃わからなかったことの一つは、ミラー(凹面鏡)の表面にアイドルホール油を流すことでした。何故、そんなことをしなければならぬか？(この点が本当に理解できませんでした。)そんな疑問を感じたことを思い出しながら、Essayを投稿しました。

その投稿から、何年たったでしょう？OB 会事務局に以下のメールが入りました。

(期日等内容を正確にお伝えするためにメール本文を記載します)

-----Original Message-----

From: Hara.Zenichiro@db.MitsubishiElectric.co.jp

Sent: Thursday, November 4, 2021 3:07 PM

To: 'tbcjimu@tbcob-tokai.sakura.ne.jp'

Cc: 'hara_zenichiro@kahaku.go.jp'

Subject: Essay の図版について

東海大学 放送研究部 OB 会御中

原善一郎と申します。突然の連絡をお許しください。

以下の東海大学放送研究部 OB 会の連絡・問い合わせを頼りに連絡しております。

<http://tbcob-tokai.sakura.ne.jp/toiawase.html>

早速ですが、

私は、三菱電機に所属しつつ、国立科学博物館の産業技術史資料情報センターで主任研究員をしています。現在、大型映像表示装置開発の歴史を調査しており、放送研究部 OB の Essay の中で、以下の記事を見つけました。

http://tbcob-tokai.sakura.ne.jp/essay_hajime2.html

この中のアイドホールの写真を使わせて頂けないか、相談申し上げる次第です。

Essay のリストには、「著者に直接許諾をお取りください。」との記載がありますが、著者(佐藤一氏:工学部電気工学科 1967 年度卒)の連絡先が分からず、Essay を管理していると思われる OB 会に相談申し上げる次第です。

一方、佐藤一氏のエッセイには、写真や図は「東海大学教務部技術課発行の東海大学における 17 年間のアイドホールプロジェクター使用状況報告より使わせていただきました」との記載があるので、教務部技術課に問い合わせるべきかもしれません。その場合、東海大学教務部技術課の連絡先を教えてください。

産業技術史資料情報センターでは、毎年、いくつかの技術体系化に関する調査報告書を発行しており、その一節で、各種の大型映像表示装置を紹介することを考えており、アイドホールに注目した次第です。

調査報告は来年 3 月末に 500 分程度発行され、後日、以下にも公開されます。学術的および非営利的な目的です。何かの手続きが必要な場合はお知らせください。

<http://sts.kahaku.go.jp/diversity/document/system/>

ご検討、よろしくお願ひします。

原 善一郎(工博)

Hara.Zenichiro@db.MitsubishiElectric.co.jp

三菱電機(株) 長崎製作所 品証部

〒851-2102 長崎県西彼杵郡時津町浜田郷 517-7

TEL 095-881-1209

hara_zenichiro@kahaku.go.jp

国立科学博物館 産業技術史資料情報センター

主任研究員(大型映像表示装置)



<http://sts.kahaku.go.jp/>

~~~~~

このメールが事務局より転送されてきました。これにはとてもびっくりしましたし、他の方々もいろいろな形で本会の HP をご覧になっているのだと、改めてその威力を知ることになりました。

早速、まずは技術課に連絡を入れましたが、これまでの大学組織の呼称や教職員の所属や役職名称が大幅に変わり、電話交換の方自体がよくわからない状況でした。また、メンバーもその頃のメンバーはほとんど定年退職されています。そこで、学園史資料センターに「17 年間のアイドホールプロジェクター使用状況報告」のレポートそのものが保管されているかを確認しましたところ、保管されていることがわかりました。

学園史資料センターが保管している場合、センターに許諾を求め、書類 1 枚提出で済むことになります。そこで、土日を含んだ関係で 4～5 日かかりましたが、無事許諾を差し上げることができました。原氏も素早い対応を感謝しておられました。

一般的に「著作権許諾」の申し出や連絡があった場合には、最優先するということが普通ですが、中には長く待たされることもあるようです。私自身も「許諾」を求められた場合の対応として今回は素早く対応できたのではないかと考えています。

## 2. よろこびと感謝

対応が終わり、原氏との個人的なやり取りで、原氏は「ラガーマン」だったことがわかりました。自己紹介やいろいろな情報交換をしているうちに「ジンわり」と嬉しさがこみ上げてきました。十分ではありませんが昔、皆で努力して勉強したことの一部が、半世紀もたつて全く知らない別の方のお役に立つとは…これはよろこび以外の何者でもありません。

年が明けて(2022 年)、「どうされているか?」と思い、坂代会長とも「そろそろかな?」などと話しておりました。少し遅れて 8 月 2 日(火)の 12:04 に以下のメールが届きました。

---

東海大学放送研究部 OB

佐藤様

三菱電機の方です(前科博調査員)。

お世話になります。

コロナ禍につき不自由な生活が続いていると思いますが、その後、如何お過ごしでしょうか。

長崎では台風の影響(期待した雨)も少なく猛暑です。

早速ですが、

私が大型映像表示装置の歴史的発展について調査した報告書が、先週末に電子データとして公開されたので紹介します。

<https://sts.kahaku.go.jp/diversity/document/system/pdf/128.pdf>

(今回から電子データはカラーになりました)

佐藤様に提供して頂いた図版は、大型映像表示装置の歴史の一コマを記述する上で役立ちました。アイドホールは、報告書の p198～199 および p272～273(系統図)に登場します。  
取り急ぎ電子データ公開の報告とお礼まで  
なお、すべての調査報告は、以下に公開されています。

①冊子ごとの報告書

<https://sts.kahaku.go.jp/diversity/document/report.php>

②分野別の報告書

<https://sts.kahaku.go.jp/diversity/document/system/index.html>

有難うございました。

---

このメールを受け取って、「あ！よかったと」と安堵しました。というのも、当初の予定より大幅に遅れての連絡でした。また、原氏は科博を退かれたご様子で、その関係もあつてご連絡が遅れたと推測しました。

今回の問合せをきっかけに、私自身もう一度「ちゃんとした整理をしなければ・・・」と思っています。今、私の考えているテーマとしては「教育機器の歴史」あたりかな？と思っています。視聴覚教育、教育学、情報教育の 3 分野にわたって経験してきましたので、少しは役に立つ情報を伝えることができるようにと思っています。(現在、Word Press の勉強中で HP の準備をしています)

私の「Essay」の投稿を快く受け入れてくれた OB 会各位に感謝申し上げるとともに、ご報告いたします。ありがとうございました。もし、少しでも興味を持たれた方は、恐縮ですがもう一度

[http://tbcob-tokai.sakura.ne.jp/essay\\_hajime2.html](http://tbcob-tokai.sakura.ne.jp/essay_hajime2.html)

を見て下さい。

また、原氏からいただいたメールの掲載については許諾をいただいております。

余談ですが、Google で「アイドホール」と入れてみてください。「東海大学放送研究部 OB 会」の「Essay」のページがリンクされて表示されます。(これも大変うれしく感じている点でもあります)

本稿に掲載したイラストは以下のサイトから使用させていただきました。(フリー素材)

<https://www.irasutoya.com/search/label/%E4%BC%9A%E7%A4%BE>

最後になりますが、OB 各位のご健康とご活躍を心より祈っております。  
また、皆さんと総会でお目にかかれる日を楽しみにしております。